



松 明

(平成30年7月発行・隔月発行) 2018 vol.4



看護の日イベント「こども写真館」

看護の日のイベント「出張！福島病院健康相談室」

看護の日実行委員会 佐々木 清 子

天気に恵まれ春風が心地よい、5月26日(土)にJA夢みなみファーマーズマーケットはたけんぼ様にて、看護の日のイベント・健康相談を行いました。朝早くから買い物客が多く、会場準備が終わると、すぐにイベント開始状態になりました。

隣のブースでは、新茶販売を行っており、お茶の香りが私たちまで届いていました。緑が美しく冷茶として試飲が出されていました。勝手にライバルと決め、新茶ブースより人を集めようと心に決めていました。

野菜や苗を買い足早に帰っていく人もいましたが、当院に関心を持ちイベントに参加してくれた方も多く、骨密度・血圧測定して健康相談をしていく流れが、自然と作られていました。食生活や病気のこと、健康診断のことなど幅広く相談があり、とても活気がありました。またアロマオイルによるハンドマッサージは大盛況でした。女性だけではなく男性も多くリフレッシュされ帰られていました。子供写真館では、とてもカラフルでかわいい白衣に着替え笑顔で写真撮影をしていました。大満足の子供たち、とても愛らしかったですね。薬剤師によるお薬相談もあり、地域の方と沢山会話し当院のPRと感謝の心を伝えることができたのかと思います。福島病院は福島市から来たのですかとの質問がありましたの

で、このような機会を利用して、今後も当院をPRしていきたいと思います。健康相談は、大成功を収めました。また来年期待してください。



本号のご案内

- 看護の日のイベント「出張！福島病院健康相談室」… 1
- 看護部だより 院内で「看護の日」イベントを実施しました！… 2
- 第17回北海道東北地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加して… 2
- メンバーシップ研修 …… 3
- 国際医療看護福祉大学の小児実習を受け入れて …… 3
- 療育だより 今年も「病院がプラネタリウム」がやってきた… 4
- バスハイキング～福島空港～ …… 4

- 看護学校だより 防災訓練を実施しました …… 5
- 「華翔祭」開催のお知らせ …… 5
- 院内感染対策研修会 ～AMR対策いきまーす!!～… 6
- 地域医療連携室だより 平成30年8月から限度額適用認定証が発行されます… 6
- 健康プラザ 口腔アレルギー症候群について …… 7
- 福島病院の七夕(たなばた) …… 7
- 外来担当医表 …… 8

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

看護部だより

院内で「看護の日」イベントを実施しました！

第1病棟 看護師 熊田 美香

1病棟では、入院患者さんに温泉の入浴剤を使用して足湯を行いました。手浴・足浴を少しでも違った形で提供できないかと話し合い、温泉気分が味わえたらと考え、温泉入浴剤を使用した“足湯”に決定。ドリフターズの「いい湯だな」をBGMに楽しい雰囲気を出しながら行いました。患者さんからは「気持ちいい」と満面の笑みを見せて頂けて、私たちもその笑顔にうれしくなり、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



第5病棟 看護師 小林 功欣

今年の5病棟の看護の日のイベントは入浴の際に入浴剤を使用することと、アロマハンドマッサージを患者さんに楽しんでもらうことを目的に計画しました。

事前に活動内容をポスターで作成、スタッフへ周知し、看護の日が盛り上がるよう取り組みました。活動を実施し、いつもと違った雰囲気に患者さんにも穏やかな表情や筋緊張が和らぐ様子がみられ、リラックス効果が得られました。イベントを実施した一週間はスタッフの協力の甲斐もあり患者さんに楽しんでもいただくことができたと思います。

今後も、看護の日週間だけでなく、患者さんを笑顔にできるよう取り組みたいと思います。



看護部だより

第17回北海道東北地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会に参加して

第3病棟 副看護師長 相楽 初江

今年度は平成30年6月30日（土）に開催され、学会テーマは「今を生きる」ここから考えよう未来を！！でした。

私たちは「副看護師長に対するファシリテーション評価の考察」という題目で発表をさせていただきました。発表について質疑応答の時間で今後の活用についてもご好評をいただくことができました。

また、他の演題も医療現場で日常から抱える問題点について向き合う内容が多く、興味深く拝聴しました。患者をとりまく環境調整を始め、睡眠、食事、自己表現の少ない患者への関わりなど、一人一人の患者の特性を優先しどのようにケアしていくのか多面的に考慮され検証されていました。特に重症心身障がい病棟においては強度行動障害による問題行動に悩む現場で、問題行動の変容の糸口につながる発表があり、実際に病棟に還元でき

る部分を取り上げ、病棟委員に働きかけ検討し活かしていきたいと考えます。

また多施設の病院の特性についても情報を得ることができ、看護実践の質の向上などについても着眼点から学びが多かったです。今回の発表にあたりご指導をいただいた看護部長、副看護部長、看護師長の皆様に深く感謝いたします。



この写真、決して遊んでいるわけではありません。メンバーシップ研修で行った「協力ゲーム」の一幕です。

これは、3分間でどちらのチームが長く輪をつなげられたかを競うゲームです。チームは「研修生」「師長副師長」の2チームで、1回目は紙をハサミで切り短冊型にしたものを輪にしてつなぐ、2回目はハサミを使う人は片手しか使えない、3回目はハサミを使う人は話してはいけないと徐々に難易度が高くなります。勝敗は「師長副師長チーム」の3戦3勝でした。勝因は「年の功」でしょうか？しかし、研修生は「柔軟な発想」で戦法を考えチャレンジする姿もあり、豊かな発想力には感心する場面もありました。

このゲームを通して、チーム内のメンバーの役割を認識させていきます。メンバーとして何をすればよいのか？何を期待されているのか？他のメンバーに何をしてもらうと助かるのか？自分の傾向は何か？などなどゲームを通して考えてもらいました。それを日常の看護場面

に投影し、自分がメンバーとしてやるべきことが少し見えてきた研修であったと思います。まずは、患者さんの個別性に合った看護を実践し、PDCAサイクルをしっかりと回せる看護師に成長してもらいたいなと思います。看護チームのメンバーとして、そして次世代のリーダーとして研修生の活躍に期待したいと思います。



6月7日（木）から7月5日（木）までの期間、重症心身障がい病棟において2年課程通信制2年次64名の実習生を受け入れました。

重症心身障がい病棟3個病棟において各4名に分かれての見学実習でした。実習生の多くは主に老健施設や民間病院、クリニック等に勤務しており、福島県在住の方のみならず、遠くは東京都内や宮城県・山形県からも泊まりがけで実習に参加しており、看護師資格取得に向けて実習に臨んでおりました。

実習前には子供の成長発達・子供の権利、そして小児の倫理に関する学習を行い、臨床現場においては、看護職員が日頃から実践している重症心身障がい児（者）患者に対する看護場面を見聞きしながら学びを深め、指導担当の看護師と共に患者へ日常生活ケアを提供するなど、真剣にかつ笑顔でこれまでの自分自身の経験を生かしながら、コミュニケーションをとるなど積極的に実習に取り組んでおりました。

2日間の実習を通し、カンファレンスでの発言や実習

レポートからは、小児（重症心身障がい児（者））の発達段階に合わせて1人ひとりの対象に応じた関わり方やチームで協力しながら療育活動を行っていること、倫理面でも患者を1人の人間として尊重した態度で接することの大切さを各々学んだようでした。この学びを今後の看護実践に活かしてほしいと思います。



7月4日（水）、山梨県甲府市を拠点に星の魅力を伝える活動をしている「星つむぎの村」さんに今年も来ていただきました。今年は、なかなか外出が難しい医療的ケアの高い方を中心に、重症心身障がい病棟（3ケ病棟・8部屋）の患者さんを対象にプラネタリウムを企画しました。

上映が始まると、「10・9・8・・・3・2・1」の掛け声で、部屋の天井に、満天の星空が浮かび上がりました。患者さんやスタッフからは、「うわ〜」という歓声や溜息がもれてきました。ナレーションを担当した高橋さん（星つむぎの村）が事前に調べていた対象者の誕生日から、星座の位置を教えてくださいました。また、「Mくんの夢は保育士さんになる事なんだよね。叶うといいね」と言って天の川を映してくれました。始まる前の何気ない会話の内容を覚えていてくれた事に、とても感激

しました。また、火星、木星、土星が近づいてくると、一緒に見ていたKくんは、手を伸ばして触ろうとしていました。プラネタリウムが終わった後は、星の美しさと同様、皆さんの目が輝いていました。

今回、一人一人が主役になり、充実した素晴らしい時間を過ごす事が出来ました。これからも、対象者に合わせた楽しい活動を考えていきたいと思います。



今年度も療育指導室では重症心身障がい病棟の患者さんを対象にバスハイキングを実施しています。

5月30日（水）には福島空港に行ってきました。バスの車窓からの景色を食い入るように見て楽しむ方や「空港には何があるかな？」と待ち遠しい様子の方、空港までの道中ではそれぞれ心躍らせているようでした。空港に着いてまず目に映ったのは、ウルトラマンに登場する戦闘機。空港内にも須賀川のシンボルであるウルトラマンの立像やジオラマ等の展示がたくさんありました。ウルトラマンを探しながら散策し、写真撮影をするご家族も...、福島空港ならではの楽しみ方ですね。

3階には滑走路を一望できる広い送迎デッキがあり、

ベンチに座りながら外の風を浴びたり、飛行機の乗り物に乗って遊んだり、ゆったりとした時間を楽しむことができました。予定では飛行機の発着がない時間帯の訪問でしたが、その日は幸運なことに小型飛行機を見ることができたのです。「飛行機だ!」という声にみんなが目をキラキラと輝かせ大興奮。いつもとは違った表情はとても印象的でした。

患者さんは満足気な様子で、外に出て家族と特別な時間を共有できたようです。

今年度のバスハイクもスタッフ一同、盛り上げていきたいと思います。



看護学校だより

防災訓練を実施しました

附属看護学校 教員 坂本 真理

学校では火災や震災などの災害を防止することを目的とし、防災管理者を定め、消防計画に基づく、消火、通報および避難の訓練の実施が消防法で義務付けられています。当校では年2回、春と秋に全学年で避難訓練を実施しています。

6月6日（水）に消防署の指導の基、火災時の避難方法と消火活動を身に付けることを目的に、火災を想定した避難訓練及び、消火器を使用した消火訓練を実施しました。学校校舎内を出火場所として想定し、初期消火や状況報告者として学生が参加する内容として実施しました。これは、医療従事者になる者として自らの安全のみならず、他者の安全についても考える機会にしてほしいというねらいがありました。「命を守ることの大切さを実感し、そのための行動を意識づけて行いたい」や「誰かを守る立場になるのだと感じ、訓練でも緊張感を持って取り組まなければならないと感じた」などの感想が聞

かれ、学生にとっても有意義な訓練になったと思います。また、昨年度、消防署からの指導を受け、限られた教職員で大勢の学生数を把握するシステムの見直しをQCサークル活動として行いました。今回、その効果を確認することが出来ました。

教職員のみならず、学生と共に学校の安全を守って行けるよう、今後も防災管理に取り組んでいきたいと考えています。



看護学校だより

「華翔祭」開催のお知らせ

附属看護学校 14 回生 角田 梨緒

昨年は「結」というテーマで14回目の華翔祭を開催しました。沢山の方にご来場いただきました。地域の皆様のご協力もあり、参加者みんなで楽しむことができました。ありがとうございました。

15回目の華翔祭は平成30年9月22日（土）に開催いたします。今年度のテーマは『「咲」～grow up smile～』です。「咲」は「えみ」と読み、「笑み」の意味も込めて、みんなで大きな華、笑みを咲かせたいという想いから決めました。看護学生として学んだ知識や技術を地域の方々に知っていただくことで、看護に興味を持っていただく機会となるよう準備をすすめています。

今年は昨年同様、血圧測定、手浴体験、バルーンアートなどの他に、とろみ食体験、ストレスチェックなど、新たな試みも用意しております。また、模擬店では、焼きそば、豚汁、味噌田楽、デザートの販売を予定します。

看護学生・教職員一同、地域の皆様のご来場を心よりお待ちしております。



院内感染対策研修会 ～ AMR対策いきまーす!! ～

院内感染対策委員会 菅 原 由香里

5月30日（水）「院内感染対策研修会」を開催しました。今年は新しい取り組みを2つ取り入れ、研修参加率アップを目指しました。手荒れがひどいスタッフが多いという情報から「プライムバリアーション」の説明を薬剤科の吉田先生から頂き、先着100名にサンプルをプレゼントしました。これはアンケートでも好評でした。次の試みとして「DVD視聴会」を3回行い、さらに参加できなかった方にはDVDを配布し視聴して頂きました。これにより、目標であった参加率80%以上を達成できる予感です。

研修会の内容ですが今年の河原田小児科部長の講義は、薬剤耐性（AMR）の話から始まり、いかに院内感染対策が必要かという構成でした。アンケートでは、すべての抗菌薬には薬剤耐性菌が存在する、日本は耐性率が高い、薬剤耐性菌による死亡率が高い、ワンヘルスアプローチ等が印象に残ったという意見が多く、新しい知識として印象づけられたようです。院内感染予防対策では、「考えて行動するようでは身につけていない」「動かない患者さんが感染するのは医療従事者が伝播している」との言葉に「ハッ!」とした方も多かったようです。

新しい学びと感染予防対策の必要性の再認識ができた研修会でした。

「アムロ＝AMR（対策）いきまーす!!」ガンダムフリークにはたまらないフレーズですね。



地域医療連携室だより

平成30年8月から限度額適用認定証が発行されます

地域医療連携係長 鈴木 仁子

平成30年8月から高額療養費の制度改正に伴い、**一部負担割合が3割の後期高齢者医療の被保険者**に対し、申請によって「限度額適用認定証」が交付されます。対象となるのは、**本人または同一世帯の被保険者の住**

民税課税所得が、下記の現役並み所得「Ⅰ」または「Ⅱ」に該当する方です。医療機関の窓口で「限度額適用認定」を提示することで、窓口の支払い上限が自己負担限度額までとなります。

世帯区分		外来（個人単位）	外来＋入院（世帯単位）
現役並み所得	Ⅲ	課税所得 690万円以上	252,600円＋（医療費－842,000円）×1%【140,100円】
	Ⅱ	課税所得 380万円以上	167,400円＋（医療費－558,000円）×1%【93,000円】
	Ⅰ	課税所得 145万円以上	80,100円＋（医療費－267,000円）×1%【44,400円】

※【 】内の金額は多数該当の場合

この区分に当てはまる方は、申請により「限度額適用認定証」が交付されます。

●お問い合わせ先

お住まいの市町村の後期高齢者医療窓口 または

福島県後期高齢者医療広域連合
☎024-563-3310

福島県 夏の季節がやってきました非常においしい福島の桃。しかし、桃を食べると口の中がかゆくなる。唇が腫れる。イガイガするなどの症状が起こる方はいらっしゃいませんか。それアレルギーです！

口腔アレルギー症候群といい、果物を食べた際果汁が口の中の粘膜に触れて起きるアレルギー症状です。果物のアレルギーは比較的壊れやすいため小腸に達する前に壊れてしまうので、食べて五分程で口腔内にのみに症状が現れます。近年この口腔アレルギー症候群は増加傾向にあります。

桃で口腔アレルギー症候群を起こす方は桃のアレルゲンと類似するハンノキやシラカバの花粉症を起こしやすいと言われています。桃と同様にサクランボやリンゴ・西洋梨でもハンノキ・シラカバでアレルギーを起こす可能性が高くなります。

またブタクサではスイカ・メロン・ズッキーニ・キュウリなど、ヨモギではセロリ・ニンジン・マンゴー、カモガヤやオオアワガエリなどの稲科ではメロン・スイカ・トマト・キウイフルーツ・オレンジなどが口腔アレルギーの起こる可能性が高くなります。

交差反応を起こすアレルゲンはいくつか存在しています。症状を起こす一つのアレルゲンのみ検査するのではなく関連するアレルゲンも検査することが推奨されます。現在では少ない採血量でアレルゲンをまとめて検査できる様になっています。

口腔アレルギーを起こす果物は熱に弱いものが多いので、ジャムやコンポート、熱処理してあるジュースなどでは症状がでにくいことから、アレルギーがあってもこれらの果物を楽しむこともできます。



●イネ科 カモガヤ



●キク科 ブタクサ

福島病院の七夕（たなばた）

福島病院では今年も
各病棟や正面玄関前に七夕飾りを設置しました。
みんなの願いが叶いますように。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成30年7月1日より】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋		大 戸 齊 ※	安 田 千 尋
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)				
検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一 (予約制)	根 本 和 夫 (予約制)	伊 藤 英 一 (予約制)	根 本 和 夫 (予約制)	杉 浦 嘉 泰 (予約制)
小 児 科	石 井 勉 (2・4) 福 島 医 大	氏 家 二 郎 勉	廣 瀬 千 穂	氏 家 二 郎	河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		氏 家 二 郎 勉			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来) ※	平 山 恒 憲 (第2)			石 井 希 代 子 (1・3・5) 加 藤 朝 子 (2・4)	
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来			予 防 接 種 (午後)		
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)	古 川 浩 三 郎 (予約制)
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2・4)			

※小児神経外来は再来のみとなります。

※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。

●外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。

●外来担当医表は平成30年7月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルができました●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 8:30～17:15)

診 療 の 予 約 ・ 変 更 等 (月～金 13:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

いよいよ須賀川も、暑い夏本番になってきました。当院では脳神経内科診療が外来と病棟で熱く始まりました。重症心身障害児(者)医療も引き続き厚く行っており、あつさ3プラスー暑い暑い厚いーの福島病院です。もちろんクーラーは効いていますよ。

(編集委員 1)



Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<http://fukushima-hosp.com/>